

「伊勢湾台風とハリケーン・カトリーナに学ぶ」



本年8月末米国で発生したハリケーン・カトリーナによる災害は、死者1,000名を超える大災害となりました。また、避難に当たって、大渋滞の発生、道路網の寸断、避難所での混乱など様々な問題が生じました。一方、日本では、昭和34年伊勢湾台風により濃尾平野を中心として5,000名以上の犠牲者が生じました。両地域とも広大な海拔ゼロメートル地帯を擁しており、計画を越える高潮が発生した際には、再び、甚大な被害が生じる可能性があります。そこで、計画を越える高潮等の水害に対する方策等、今後の対応策を議論し、今後に備える具体的な行動を模索することを目的としてシンポジウムを開催いたします。多くの方々の積極的なご参加をお待ちしております。

日時: 平成17年12月17日(土) 開場: 12:30 開演: 13:30～(3時間)
 場所: ウィルあいち(愛知県女性総合センター) 4F ウィルホール
 〒461-0016 名古屋市東区上笠杉町1番地
 TEL 052-962-2511
 主催: 国土交通省中部地方整備局、日本水フォーラム
 協賛: 社団法人中部建設協会
 後援: 愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市

プログラム

- | | | |
|-----------------------|---|-------------|
| 1) 挨拶 | 国土交通省中部地方整備局長 大村哲夫 | 13:30～13:40 |
| 2) 講演 | 米国の治水事業
講師: 米国陸軍工兵隊水資源研究所上級顧問 ジェローム・デリ・プリスコリ | 13:40～14:10 |
| 3) ハリケーン・カトリーナ現地調査団報告 | 海部津島水防事務組合十四山村水防団長 廣田 孝喜
名古屋市消防連合会副会長 今吉 恒明
海津市高須輪中水防団長 森 正夫
中部地方防災エキスパート 杉浦 宏 | 14:10～14:40 |

<休憩>

- | | |
|--|-------------|
| 4) パネルディスカッション | 14:40～15:00 |
| テーマ「伊勢湾台風とハリケーン・カトリーナに学ぶ」 | 15:00～16:30 |
| コーディネーター: 中部地方整備局ハリケーン・カトリーナ調査団長、
日本水フォーラム事務局長 尾田栄章 | |
| パネリスト: 元ミシシッピ川委員会委員長、
元陸軍工兵隊ミシシッピ川地区長官 ゲリー・ギャロウェイ
米国ルイジアナ州東ジェファーソン堤防組合運営管理者 ジム・ベイカー
名古屋市消防団連合会長 安井真己
長島土地改良区理事長、元長島町長 平野久克
国土交通省河川局海岸室海洋開発官 野田 徹
国土交通省中部地方整備局河川部長 細見 寛 | |

- 配布資料: 現地調査報告書他
 - 日英同時通訳有り
 - 定員: 500名
 - 参加費: 無料
 - 問合せ先: 日本水フォーラム 澤 TEL: 03-5212-1645
 - 参加申込先: (社)中部建設協会 河川技術部 松原
 - E-mail: y.matsubara@ckk.or.jp TEL: 052-962-9085 FAX: 052-962-9083
- ※E-mail又はFAXで所属、氏名、電話番号またはメールアドレスを添えてお申込下さい。
 当日受付も可能です。なお、資料準備の都合上、極力、事前のお申し込みをお願い致します。

会場への交通案内



地下鉄「市役所」駅2番出口東へ徒歩約10分

名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約8分

基幹バス「市役所」下車東へ徒歩約10分

市バス幹名駅1「市政資料館南」下車北へ徒歩約5分

※駐車台数に限りがありますので公共交通機関の利用にご協力ください。

参加申込書

申込先: (社)中部建設協会 河川技術部 松原 宛
E-mail: y.matsubara@cck.or.jp
FAX: 052-962-9083

<お申込方法>

以下に記入し、上記FAXへお送り頂くか、以下の項目を記述したメールを上記へお送り下さい。

組織名	役職	氏名

電話番号: _____

メールアドレス: _____

